

巻数	編	章	節			開始 ページ
	第1編	総説				
		第1章	概説			3
		第2章	沿革			16
	第2編	自然と文化				
		第1章	自然環境			25
			第1節	自然の形成		25
			第2節	石器時代の生活		27
			第3節	環境と自然物		30
		第2章	人類文化			34
			第1節	縄文時代		34
				(1) 縄文文化		34
				(2) 遺跡		35
				(3) 遺物		36
				(4) 生活		41
			第2節	弥生時代		43
				(1) 弥生式文化		43
				(2) 遺物		45
				(3) 生産と生活		47
			第3節	遺物から見た生活		49
	第3編	古代				
		第1章	国造および国、郡の設置			57
			第1節	古墳と国造		57
			第2節	白河の国造		59
			第3節	白河の剗(関)		62
			第4節	郡、郷と駅路		64
			第5節	郡衙および軍団		68
			第6節	白河郡		69
			第7節	借宿廃寺跡と白河郡衙跡		71
		第2章	奥州藤原氏の支配			74
			第1節	安倍氏と前九年・後三年の役		74
			第2節	行方の原と鎌倉権五郎		75
				(1) 行方の原		75
				(2) 鎌倉権五郎		76
		第3章	支配領の成り立ちと豪族			78
			第1節	支配領の成り立ち		78
			第2節	地方豪族		79
			第3節	荘園と豪族		81
				(1) 石川庄		82
				(2) 白河庄		82
		第4章	地方文化と生活			83
			第1節	仏教文化		83
			第2節	古代の神社		86
			第3節	地方の文化		88
			第4節	農民生活と産業		92
		第5章	平氏滅亡と奥州平定			96
			第1節	平氏滅亡と守護地頭の設置		96
			第2節	頼朝の奥州進攻		98
			第3節	奥の坊の濫觴		100
		第6章	古代からの名称			102
				(1) 白河		102
				(2) 阿武隈川		103
				(3) 道奥		103
				(4) 甲子		104
				(5) 白河の剗		105
				(6) 行方野原		105
				(7) 松田郷		106

		(8)	滑津	107
		(9)	小針	107
		(10)	松崎	108
第4編	中世			
第1章	奥州平定後の白河地方			113
	第1節	結城朝光		113
	第2節	白川結城家の始まり		115
	第3節	支配の体制		120
	第4節	武士と農民		122
	第5節	駅路と松田駅(二子塚)		124
第2章	石川氏一族			125
第3章	南北朝時代			133
	第1節			133
	第2節	石川氏		138
第4章	佐竹氏の北進と船尾氏			142
第5章	地方豪族			146
	第1節	滑津氏		146
	第2節	松崎氏と中畠氏		150
第6章	仏教文化			153
	第1節	仏教の展開		153
	第2節	村内の仏教文化		158
	第3節	村内の寺院と宗教		162
第7章	地方文化			168
	第1節	時代の特色		168
		(1)	鎌倉時代	168
		(2)	室町時代	169
	第2節	農村の信仰と文化		171
	第3節	信仰と起請文		172
第8章	文書集			175
	第1節	文書集		175
	第2節	白河地方の勢力動向年表		185
第9章	遺跡および石造物			187
	第1節	遺跡		187
	第2節	石造物		193
		(1)	石仏および磨崖碑	193
		(2)	板碑	195
第5編	近世			
第1章	会津領下の白河地方			201
	第1節	支配の変遷		201
	第2節	上杉氏の白河進軍		207
	第3節	検地と農民の負担		209
		(1)	検地	209
		(2)	農民の負担	211
		(3)	文禄石高表	213
第2章	白河藩前期			215
	第1節	白河藩主と小峯城		215
	第2節	参勤交代と年貢		220
		(1)	参勤交代	220
		(2)	年貢および選銭	222
	第3節	慶安検地と本多氏		227
		(1)	検地	227
		(2)	本多氏	229
		(3)	本多氏の藩政	231
		(4)	慶安期の各村石高	234
		(5)	二子塚村同新田村検地帳	235
	第4節	元禄から享保ごろの藩政		264
		(1)	芭蕉が通過したころ	264
		(2)	開田促進と二子塚新田	266
		(3)	元禄堀と寄合堰	268
		(4)	元禄文化	272

	(5)	松崎村入会地権協定書	276
	(6)	藩政改革派の敗退	278
	(7)	馬産と駒付庄屋	281
第5節		訴願と農民の反撃	283
	(1)	天和の訴願	283
	(2)	享保の反撃	285
	(3)	松崎村庄屋等の直訴	289
	(4)	寛保の願書	291
	(5)	農民騒動集録	293
第3章		高田藩領前期	299
第1節		領域の変更と浅川陣屋	299
	(1)	領域の変更	299
	(2)	榊原氏と領内村々	300
	(3)	浅川陣屋	301
第2節		領民の窮乏と移民	303
	(1)	移民	303
	(2)	人口対策	306
第3節		触状(通達)集録	309
第4節		浅川騒動と駒付役	318
	(1)	浅川騒動	318
	(2)	駒付役	321
第5節		浅川騒動見聞録	323
第6節		領域変更と浅川陣屋の終局	327
	(1)	領域変更の通達	327
	(2)	浅川陣屋の終局	330
第7節		農民の願い及び用水堰	331
	(1)	農民の願い	331
	(2)	用水堰普請	336
第4章		高田藩領後期	338
第1節		釜子陣屋の成り立ち	338
第2節		陣屋の規模と村高	339
第3節		庄屋と五人組	341
	(1)	庄屋	341
	(2)	五人組	342
第4節		栃本組と農作業	345
	(1)	戸数および人口の変化	345
	(2)	嘆願等による村の形勢	346
	(3)	幕末期の農作業	346
第5節		助郷課役と触れ	349
第6節		吉岡村年貢関係	354
	(1)	文化四年年貢	354
	(2)	文化十四年年貢	356
	(3)	年貢延納願	357
	(4)	年貢米金銭受取通	358
第7節		吉岡村諸御用控帳	359
第8節		大洪水被害届	364
第9節		川除普請	365
	(1)	川除普請工事見積	365
	(2)	川除普請人夫見積	366
	(3)	川除普請手伝人夫願書	367
第10節		用水堰取払方願	367
第11節		用水堰設置取極め協定	369
第12節		居久根取極め書	373
第5章		塙代官領時代	374
第1節		領域と代官所	374
	(1)	領域	374
	(2)	塙代官所	376
第2節		寺西代官の主要施策	377
	(1)	寺西八ヶ条と十禁の制	377

	(2)	土木と農業	378
	(3)	売春婦対策	379
	(4)	人口対策	380
第3節		用水堰、川除普請願	383
第4節		農民騒動	389
	(1)	戸塚騒動	389
	(2)	こんにやく騒動	390
第5節		滑津村庄屋文書	391
	(1)	家老道案内御詫状	391
	(2)	善通寺および光学院文書	392
第6節		塙代官への願い三件	393
	(1)	年貢割その他の願い	393
	(2)	陣屋設置場所訴訟	402
	(3)	兼帯庄屋配置願い	404
第7節		地域生活上の願い	405
	(1)	滑津市の復興	405
	(2)	無火災奉納舞願	409
	(3)	狩猟願	410
	(4)	酒造関係願書	410
	(5)	雨乞願および田植不能届(水不足)	414
第8節		願書および届書(新屋敷村)	414
第9節		民家生活風俗の改善	420
第10節		人数調(文化・文政)	425
第11節		往来手形と馬輸送の実状	427
第12節		通船事業	429
第13節		年貢等賦課	435
第14節		助郷伝馬人夫割当回状	450
第15節		幕領浅川陣屋終局の覚書	455
第6章		白河藩後期	457
第1節		藩主の移封と領域変更	457
第2節		農民の困窮と訴願	458
第3節		天明の飢饉	459
	(1)	天明飢饉	459
	(2)	嘆願書	461
第4節		『白河風土記』に見られる村	462
第5節		松平定信の藩政	463
第6節		人口減少の推移	467
第7節		松崎村年貢	468
	(1)	免定	468
	(2)	検地案内帳	472
	(3)	早魃二付不植付反別相改書上帳	476
	(4)	竹藪御改書上帳	480
第8節		街道と助郷	482
第9節		阿部氏と藩政	490
第10節		天保の凶作と被害調べ	494
第11節		年貢勘定と皆済	505
第12節		樹木調査	517
第13節		年貢高引嘆願書	519
第14節		江戸城本丸火災献金帳	522
第15節		入会地と個人所有林調べ	525
	(1)	村境協定願	525
	(2)	持分林改帳	526
第16節		駅場と問屋	531
第17節		本科医師柴玄仙の診断書	533
第18節		土地制度と田方地割帳	536
第19節		年貢米金取立帳	545
第20節		切支丹と宗門改	557
第21節		住職入寺願	568
第22節		年貢米金勘定帳	569

		第23節	村内の文化財	573
	第7章	維新前後		578
		第1節	白河藩の活躍と幕府の没落	578
		第2節	名残の白河城	584
		第3節	白河地方の農民	586
		第4節	廃仏毀釈と神道	594
		第5節	新しい行政組織	600
		第6節	新しい行政組織へ	602
		第7節	福島県庁	604
第6編	近現代			
	第1章	行政		609
		第1節	明治維新	609
		第2節	地方行政の変化	609
		(1)	藩知事、名主、庄屋	609
		(2)	藩から県へ	613
		(3)	区長、戸長、副戸長	613
		(4)	区から郡村制へ	614
		(5)	市、町、村	617
		(6)	村内各村の合併と組合村の解消	617
		(7)	歴代役場三役・村会議員と村内出身者で政界で活躍した人々	625
		(8)	役場庁舎の変遷	631
		(9)	中島村となってからの歴代三役	633
		(10)	中島村歴代村会議員	634
		第3節	国政の変化	638
		(1)	地租改正	638
		(2)	社会福祉の進展	641
		第4節	金島村現況一覧	642
		(1)	村の機構	642
		(2)	産業関係	644
		(3)	人口の推移と高齢化	646
		(4)	福祉事業	648
		(5)	老人福祉事業	652
		(6)	村営事業	652
	第2章	農業		656
		第1節	農業の変遷	656
		(1)	明治初期の農業	656
		(2)	明治後期の農業	676
		(3)	大正時代の農業	678
		(4)	昭和前期の農業	686
		(5)	終戦後の農業	697
		第2節	農業関係組合の設立	727
		(1)	農業共済組合の設立	727
		(2)	農会その他と農業協同組合	729
		第3節	普及事業その他	737
		(1)	農業指導の普及	737
		(2)	農業改良指導所	738
		第4節	農業委員会	740
		(1)	農業委員会のスタート	740
		(2)	農業者年金制度の改正	740
		(3)	中島村農業委員会	741
		第5節	土地改良法	742
		第6節	商工会と進出企業状況	742
		(1)	中島村商工会	742
		(2)	進出企業状況	744
	第3章	教育		745
		第1節	寺子屋教育	745
		第2節	学校教育	745
		(1)	明治時代	745
		(2)	大正時代	748

		(3)	昭和前期(昭和二十年まで)	749
		(4)	昭和後期	751
		(5)	幼児教育	771
	第3節		社会教育	773
		(1)	青年教育	773
		(2)	公民館と農村環境改善センター	775
第4章	兵役・戦争関係			782
	第1節		兵役と徴兵制	782
	第2節		維新後における主な戦争	783
		(1)	徴兵制実施前	783
		(2)	徴兵制実施後	783
		(3)	各戦役従軍者調	785
		(4)	明治時代の戦死者調	790
		(5)	昭和時代の戦死者調	791
		(6)	軍馬の徴発と慰霊碑	792
第5章	庶民生活			794
	第1節		明治の初めごろ	794
		(1)	開化の諸法令	794
		(2)	衣生活	794
	第2節		明治後期	795
	第3節		大正期	796
		(1)	一般家庭と女性	796
		(2)	農村の様子	797
	第4節		昭和前期の社会と生活	799
	第5節		昭和後期の社会と生活	799
		(1)	衣・食・住の変遷	801
		(2)	風俗・習慣	805
第6章	民間行事・講中と方言			807
	第1節		年中行事	807
	第2節		講中	816
	第3節		方言・訛語(なまり言葉)	818
第7章	住民の安全と交通・通信			823
	第1節		警察	823
		(1)	吉子川駐在所	823
		(2)	滑津駐在所	824
		(3)	中島駐在所	824
	第2節		消防	824
		(1)	消防の変遷	825
		(2)	合併前の消防	826
		(3)	中島村消防団	827
		(4)	矢吹消防署東分署の変遷	827
	第3節		無医村の救世主	829
		(1)	漢法医療時代	829
		(2)	現代医療時代	830
	第4節		交通	832
		(1)	鉄道以前の交通	832
		(2)	東北本線	834
		(3)	東北新幹線の営業開始	836
		(4)	乗合自動車(バス)のはしり	837
	第5節		郵便局	837
		(1)	中島郵便局	837
		(2)	吉子川簡易郵便局	838
		(3)	地域集団電話	838
	第6節		電力事業	838
	第7節		公害問題	839
第8章	宗教			840
	第1節		明治期の宗教	840
	第2節		昭和期の神道	840
	第3節		村内の神社	841

	第4節	村内の寺院と廃寺調べ	844
		(1) 村内の寺院	844
		(2) 村内廃寺調べ	846
第9章	名所・伝説および地名の起源		849
	第1節	名所	849
	第2節	伝説	850
	第3節	地名の起源	856
第10章	各種団体		858
	第1節	明治時代	858
		(1) 滑津村	858
	第2節	大正から昭和まで	860
		(1) 滑津村	860
		(2) 吉子川村	861
		(3) 中島村	862
	第3節	スポーツ関係の荣誉	869
	第4節	社会体育の行事計画	871
第11章	記念碑・頌徳碑		873
	第1節	記念碑	873
	第2節	頌徳碑	880
中島村史年表			883
村史編さんの経過について			890